

平成25年5月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 デジタルガレージ

コード番号 4819 URL <http://www.garage.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO

(氏名) 林 郁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役
コーポレートストラテジー本部 管掌

(氏名) 曾田 誠

TEL 03-6367-1111

四半期報告書提出予定日 平成25年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第3四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第3四半期	20,328	76.8	624	△69.0	1,886	△34.0	2,208	△6.4
24年6月期第3四半期	11,500	49.5	2,011	—	2,858	804.7	2,358	757.4

(注) 包括利益 25年6月期第3四半期 2,223百万円 (△11.0%) 24年6月期第3四半期 2,498百万円 (674.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第3四半期	9,920.27	9,911.61
24年6月期第3四半期	10,959.09	10,951.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年6月期第3四半期	61,444	26,272	40.6	106,405.70
24年6月期	49,338	20,476	41.1	93,072.17

(参考) 自己資本 25年6月期第3四半期 24,931百万円 24年6月期 20,271百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
25年6月期	—	0.00	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	1,000.00	1,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	84.5	1,300	△19.8	3,000	10.7	2,600	23.4	11,528.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(平成25年5月10日)公表致しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1社 (社名) econtext Asia Limited 、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年6月期3Q	235,589 株	24年6月期	219,084 株
25年6月期3Q	1,284 株	24年6月期	1,284 株
25年6月期3Q	222,620 株	24年6月期3Q	215,196 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) その他	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更したため、前年同期比較にあたっては前第3四半期連結累計期間分を変更後の区分に組み替えて行っております。変更の内容につきましては、「3. 四半期連結財務諸表(5)セグメント情報等」に記載のとおりであります。

なお、文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年末に発足した新政権によるデフレ脱却に向けた経済政策への期待感から日経平均株価が上昇するなど景況感に改善の兆しが見られましたが、实体经济は新興国経済の減速・停滞が懸念されるなど依然として不透明な状況でありました。一方、当社を取り巻くインターネット及びブロードバンド関連の環境につきましては、平成24年12月末時点でブロードバンド契約数が約5,359万となるなど、継続的な拡大基調にあります。

このような事業環境の下、当社グループは「Lean Global」(Lean:無駄のない、Global:地球規模)という企業コンセプトのもと、マーケティングソリューションとEコマース決済プラットフォームの提供をベースに、投資を伴うビジネスインキュベーションを行っております。ペイメント事業を統括する中間持株会社 econtext Asia Limited は、平成25年2月から4月にかけて、クレジットカード業界におけるリーディングカンパニーである3社と資本業務提携致しました。これらの提携により、国内のペイメント事業のさらなる拡大を図るとともに、それぞれが日本で培ってきた高品質のサービスを武器に、成長を続けるアジア地域での事業拡大を目指して参ります。

当第3四半期連結累計期間におきましては、ペイメント事業及びマーケティング事業は堅調に推移したものの、インキュベーション事業において保有株式の売却が前年同期と比べて減少したことや米国で先行投資的費用が増加したことから、当社グループの連結売上高は20,328百万円(対前年同期比8,827百万円増、同76.8%増)、営業利益は624百万円(対前年同期比1,387百万円減、同69.0%減)となりました。また、持分法による投資利益及び当社が保有する外貨建資産の評価替等により発生した為替差益の計上等により、経常利益は1,886百万円(対前年同期比971百万円減、同34.0%減)、連結子会社の株式の一部を売却したことによる関係会社株式売却益の計上等により、四半期純利益は2,208百万円(対前年同期比149百万円減、同6.4%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[ペイメント事業]

ペイメント事業におきましては、Eコマース決済ソリューションの提供を行っております。ベリトランス(株)は、他のグループ会社と同じ事業拠点に移転し、(株)イーコンテクストとのオフィス統合が完了致しました。併せて、両社の営業チームを一体化するなどの事業統合も加速させております。

なお、ベリトランス(株)及び一部連結子会社の決算日を3月31日から連結決算日である6月30日に変更したことに伴い、当第3四半期連結累計期間におきましては、ベリトランス(株)及び一部連結子会社は平成24年4月1日から平成25年3月31日までの12ヶ月間の実績を連結しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は11,143百万円(対前年同期比8,357百万円増、同300.0%増)、営業利益は1,043百万円(対前年同期比618百万円増、同145.6%増)となりました。

[マーケティング事業]

マーケティング事業におきましては、ウェブとリアルを融合した総合プロモーション及びインターネット広告等のウェブマーケティングを行っております。広告・プロモーションを手掛ける当社ディージー・アンド・アイバックカンパニーは、ウェブマーケティング領域は引き続き好調であるものの、ビッグデータ事業などの新規事業に係る開発コストが発生し、対前年同期比で減益となりました。また、ECサイト向けレコメンドサービスを提供するナビプラス(株)は、中小規模サイト向け商品レコメンドサービスを提供する(株)コトハコを完全子会社化致しました。大規模サイトに強みを持つナビプラス(株)のレコメンドサービスに、(株)コトハコのサービスを加えることで、ECサイトの規模に合わせた最適なサービスの提供が可能となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,938百万円(対前年同期比1,797百万円増、同29.3%増)、営業利益は305百万円(対前年同期比140百万円減、同31.5%減)となりました。

[インキュベーション事業]

インキュベーション事業におきましては、国内外のベンチャー企業への投資・育成及び投資先企業のサービスのローカライズなどを行っております。保有株式の売却が前年同期と比べて減少したことや米国で先行投資的費用が増加した結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,246百万円(対前年同期比1,327百万円減、同51.6%減)、営業損失は222百万円(前年同期は営業利益1,900百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて11,673百万円増加し、39,678百万円となりました。この主な要因は、第三者割当等における新株式発行に伴う払込が完了したこと及び連結子会社株式の一部売却等により現金及び預金が7,028百万円増加したことに加え、連結子会社株式の一部売却及び決済事業等に係る未収入金が3,079百万円、株式の取得等により営業投資有価証券が711百万円、決済事業に係る金銭の信託が408百万円、受取手形及び売掛金が206百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて432百万円増加し、21,766百万円となりました。この主な要因は、連結子会社株式の一部売却による取崩し等に伴いのれんが1,779百万円減少した一方で、持分法による投資利益の計上等により投資有価証券が1,350百万円増加したことによるものの他、新規取得等によりソフトウェアが331百万円、有形固定資産が312百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて1,052百万円増加し、29,558百万円となりました。この主な要因は、条件変更等による長期借入金等への借換等により短期借入金が6,340百万円、法人税の支払等により未払法人税等が236百万円減少した一方で、決済事業等に係る預り金が3,687百万円、条件変更等による短期借入金からの借換等により1年内返済予定の長期借入金が3,621百万円、仕入債務の計上等により支払手形及び買掛金が164百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて5,258百万円増加し、5,613百万円となりました。この主な要因は、条件変更等による短期借入金からの借換等により長期借入金が5,268百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて5,795百万円増加し、26,272百万円となりました。この主な要因は、第三者割当増資等に伴い資本金が1,312百万円、資本剰余金が1,312百万円、連結子会社株式の一部売却による持分割合の減少等により少数株主持分が1,135百万円、四半期純利益の計上等により利益剰余金が1,990百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年6月期の通期の連結業績予想につきましては、本日(平成25年5月10日)公表致しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、香港特別行政区にecontext Asia Limitedを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

（3）その他

連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

ベリトランス(株)は第2四半期連結会計期間より、eCure(株)、iResearch Japan(株)及びナビプラス(株)は当第3四半期連結会計期間より決算日を3月31日から6月30日に変更しております。また、この変更に伴い、従来決算日が3月31日であり同決算日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については必要な調整を行っていた(株)シェアリーチェーンについても、連結決算日である6月30日に仮決算を行い連結する方法に変更しております。

この決算期変更に伴い、当第3四半期連結損益計算書は、同5社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの12ヶ月間の数値を連結しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,308,492	19,336,977
金銭の信託	3,404,967	3,813,042
受取手形及び売掛金	2,479,801	2,686,027
営業投資有価証券	1,904,227	2,615,601
投資損失引当金	△93,338	△183,265
商品	940	1,440
仕掛品	34,110	67,298
原材料及び貯蔵品	547	933
未収入金	7,577,965	10,657,924
その他	404,908	700,337
貸倒引当金	△17,286	△17,598
流動資産合計	28,005,334	39,678,721
固定資産		
有形固定資産	912,588	1,225,220
無形固定資産		
ソフトウェア	959,106	1,290,202
のれん	12,104,667	10,325,430
その他	16,341	17,485
無形固定資産合計	13,080,115	11,633,119
投資その他の資産		
投資有価証券	4,299,840	5,650,815
その他	3,077,308	3,297,173
貸倒引当金	△36,553	△35,399
投資損失引当金	—	△4,881
投資その他の資産合計	7,340,594	8,907,708
固定資産合計	21,333,298	21,766,047
資産合計	49,338,633	61,444,768

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,154,325	1,318,514
短期借入金	10,640,000	4,300,000
1年内返済予定の長期借入金	100,008	3,721,682
未払法人税等	740,945	504,168
賞与引当金	151,453	87,458
預り金	14,956,391	18,643,414
その他	762,681	982,847
流動負債合計	28,505,805	29,558,084
固定負債		
長期借入金	183,308	5,452,148
退職給付引当金	64,717	69,982
その他	107,870	91,848
固定負債合計	355,896	5,613,979
負債合計	28,861,701	35,172,064
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,017,283	7,329,488
資本剰余金	9,703,334	11,015,538
利益剰余金	4,505,145	6,495,799
自己株式	△69,840	△69,840
株主資本合計	20,155,922	24,770,987
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△76,380	47,518
為替換算調整勘定	191,575	112,881
その他の包括利益累計額合計	115,195	160,400
新株予約権	31,589	31,115
少数株主持分	174,223	1,310,200
純資産合計	20,476,931	26,272,704
負債純資産合計	49,338,633	61,444,768

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
売上高	11,500,423	20,328,393
売上原価	7,629,288	15,873,141
売上総利益	3,871,135	4,455,251
販売費及び一般管理費	1,859,585	3,831,170
営業利益	2,011,549	624,081
営業外収益		
受取利息	7,943	4,520
受取配当金	204	2,242
持分法による投資利益	695,495	945,364
為替差益	198,855	375,450
その他	10,690	203,936
営業外収益合計	913,189	1,531,514
営業外費用		
支払利息	15,361	86,696
不動産賃貸原価	—	84,889
その他	50,526	97,079
営業外費用合計	65,888	268,664
経常利益	2,858,850	1,886,931
特別利益		
持分変動利益	17,396	18,603
投資有価証券売却益	10,208	153,417
関係会社株式売却益	—	1,024,714
その他	180	—
特別利益合計	27,784	1,196,735
特別損失		
固定資産除却損	3,114	12,152
投資有価証券評価損	8,366	28,669
事務所移転費用	—	12,583
その他	7,936	6,903
特別損失合計	19,418	60,309
税金等調整前四半期純利益	2,867,217	3,023,356
法人税、住民税及び事業税	494,144	826,543
法人税等調整額	—	18,223
法人税等合計	494,144	844,767
少数株主損益調整前四半期純利益	2,373,073	2,178,589
少数株主利益又は少数株主損失(△)	14,719	△29,865
四半期純利益	2,358,353	2,148,724

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,373,073	2,178,589
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	65,522	123,912
為替換算調整勘定	60,271	△78,693
その他の包括利益合計	125,793	45,218
四半期包括利益	2,498,866	2,223,808
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,484,146	2,253,660
少数株主に係る四半期包括利益	14,720	△29,851

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年1月11日を払込期日とし、(株)電通を割当先とする第三者割当による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,311,783千円増加しております。

主にこれらの結果、当第3四半期連結会計期間において資本金が1,311,967千円、資本準備金が1,311,967千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が7,329,488千円、資本準備金が7,422,234千円となっております。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ペイメント 事業	マーケティング 事業	インキュベ ーション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,785,501	6,141,276	2,573,645	11,500,423	—	11,500,423
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,983	14,434	7,603	24,020	△24,020	—
計	2,787,484	6,155,710	2,581,248	11,524,444	△24,020	11,500,423
セグメント利益	424,747	445,525	1,900,438	2,770,711	△759,162	2,011,549

(注) 1. セグメント利益の調整額△759,162千円には、セグメント間取引消去84,244千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△843,406千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ペイメント 事業	マーケティ ング事業	インキュベ ーション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,143,261	7,938,882	1,246,249	20,328,393	—	20,328,393
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,827	14,244	3,753	20,825	△20,825	—
計	11,146,089	7,953,126	1,250,003	20,349,219	△20,825	20,328,393
セグメント利益又は 損失(△)	1,043,088	305,048	△222,955	1,125,181	△501,099	624,081

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△501,099千円には、セグメント間取引消去327,850千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△828,950千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、報告セグメントは「ハイブリッド・ソリューション事業」、「メディア・インキュベーション事業」及び「ベンチャー・インキュベーション事業」の3区分としておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「ペイメント事業」、「マーケティング事業」及び「インキュベーション事業」の3区分に変更しております。

この変更は前連結会計年度において、株式の取得により決済業務等を行うベリトランス(株)を連結子会社としたことや外国子会社の設立等の大幅な企業集団の状況の変化を契機として、今後のグループ全体のグローバル展開や事業戦略等を踏まえて、報告セグメントの見直しを行ったものであります。

これにより、「ハイブリッド・ソリューション事業」に含めておりましたEコマース等の決済業務等を「ペイメント事業」として独立セグメントに区分し、「ハイブリッド・ソリューション事業」及び「メディア・インキュベーション事業」に含めておりました広告/プロモーション事業等を「マーケティング事業」として統合し、「メディア・インキュベーション事業」及び「ベンチャー・インキュベーション事業」に含めておりましたベンチャー企業への投資・育成、開発支援事業等を「インキュベーション事業」として統合しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、ペイメント事業ののれんが、連結子会社であるecontext Asia Limited株式の一部売却による取崩しにより1,692,128千円減少しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。